

## 当院で実施する研究に対する情報提供のお願い

### 研究タイトル

原発性肺癌における Geriatric Nutritional Risk Index の臨床病理学的意義

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお1人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

#### 1. 研究の対象

2018年から2021年の間に、当院呼吸器外科で原発性肺癌切除術を受けられた方

#### 2. 研究目的・方法

GNRI（栄養関連指標）は予後予測因子として報告されました。日常臨床で測定されている血清アルブミン値、身長、体重から以下のように算出されます。 $GNRI = [14.89 \times \text{血清アルブミン}] + [41.7 \times (\text{体重}/\text{身長}^2/22)]$ 。これまでに、胃癌に対する予後不良因子としての報告がありますが、原発性肺癌との関連については報告されていません。

この研究は、原発性肺癌において、GNRIの予後予測因子としての有用性を検討することを目的としています。当院で原発性肺癌切除を受けられた方を対象として、術前の臨床データからGNRIを算出します。対象の患者さんをGNRI高値群と低値群の2群に分類し、低値群の臨床病理学的特徴を比較検討します。

研究期間：施設院長承認後～2024年12月

#### 3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

#### 4. 研究に用いる情報の種類

情報：年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、手術術式、腫瘍マーカーCEAの術前値、

Charlson Comorbidity Index（術前併存疾患のスコア）、病理組織型、臨床病期、病理病期、生存期間、無再発生存期間 等

#### 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

和泉市立総合医療センター

所属・職位・氏名：呼吸器外科・部長・富沢健二

住所：〒594-0073 大阪府和泉市和気町 4-5-1

連絡先：0725-41-1331

(2022年10月7日作成 第1.0版)